

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営理念

夢現一夢を現実に一。お客さまの夢を実現することで企業の成長を遂げ、すべてのステークホルダーの価値向上に貢献する。

売上高
792億円

営業利益
123億円

経常利益
110億円

当期純利益
75億円

② 中長期の経営戦略

1. 事業領域の拡大

買取再販事業は営業生産性向上と営業エリア拡大で組織力強化。営業チャネルとアセットタイプを拡充し事業成長を推進。

2. 新たな価値創造

不動産開発事業と特定共同事業で仕入・販売力強化と連携強化で領域拡大。物件価値向上とアセットタイプ多様化で事業成長。

3. 資本コスト意識経営

株価と資本コストを意識した経営方針で企業価値向上を図り、利益を株主還元と成長投資で好循環を生み出す。

4. サステナビリティ経営

気候変動対応・人材育成・組織力強化を通じて持続可能な成長を実現し、社会やステークホルダーからの信頼を高める。

③ 対処すべき課題

① 新規物件の取得加速

- ・ 営業生産性向上と営業エリア拡大で取得体制を構築
- ・ 収益性の高い大型物件取得と需要の高いアセット厳選
- ・ 開発事業は市場ニーズと採算性を重視した用地取得

② 販売用不動産の在庫回転率向上

- ・ 工事部門を子会社から当社へ移管し施工体制を強化
- ・ 内外装工事の工期短縮で早期商品化を実現
- ・ 不動産テック活用と仲介会社向けサイト機能拡充

③ 工事原価削減と収益性確保

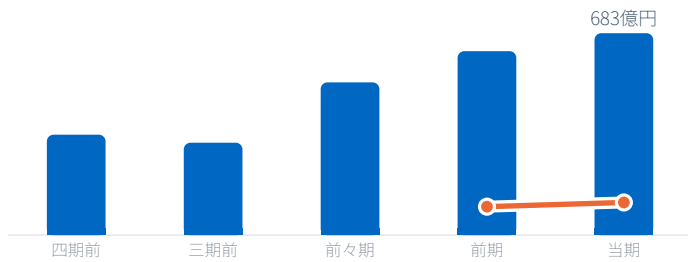
- ・ 資材調達先と工事協力会社拡充で調達コスト適正化
- ・ 業務オペレーション見直しによる労務費抑制
- ・ 価格・品質標準化とコスト削減・工期短縮推進

面接で使えるポイント

- ・ 経営理念『夢現一夢を現実に一』のもと、不動産業界の社会課題解決に取り組む姿勢が特徴。
- ・ 第3次中期経営計画では『資本コストと株価を意識した経営』と『サステナビリティ経営』の2軸で企業価値向上を目指す。
- ・ 2026年12月期に売上高792億円、営業利益123億円を見通し、買取再販事業の強化と新規事業展開を積極推進。

証券コード 3299

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
683億円営業利益率
16.2%財務健康度
58点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 56.0（当サイト算出の参考指標）

平均年収
749万円

不動産業内 58位/130社

平均年齢
35.4歳

不動産業内 104位/131社

平均勤続
3.4年

不動産業内 111位/131社

女性管理職
4.7%

不動産業内 67位/76社

男性育休
100.0%

不動産業内 8位/57社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: ムゲンエスレート、2026年12月期第1四半期決算について

